

漆額壁パネル

# WAGOCORO



*Sanuki*

sanuki  
urushi

JAPAN



## 漆のある生活

漆は、日本人の暮らしと共に育ってきました。その歴史は古く、遥か太古の縄文時代にまで遡ります。

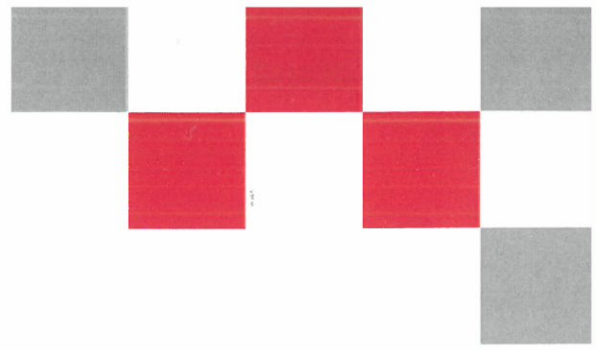
塗料であり、接着剤でもある漆は、さまざまな器や武器、櫛などの装飾品のほか、柱や壁を彩り、強くする建築材料として取り入れられていました。

また、お椀や重箱などの日用品から、粋を尽した宝飾品まで気候や土地土地の文化に合わせて、多様に発展してきました。

人々の暮らしに寄り添ってきた文化が、日本には深く根付いているのです。

そうした長い歴史を背景に、私たち日本人の心の奥底には、漆と共に生活を育んできたというDNAが刻み込まれているのではないかと。

こんな思いを抱きながら、新しい、漆のある生活をご提案します。



## 漆の建材の魅力

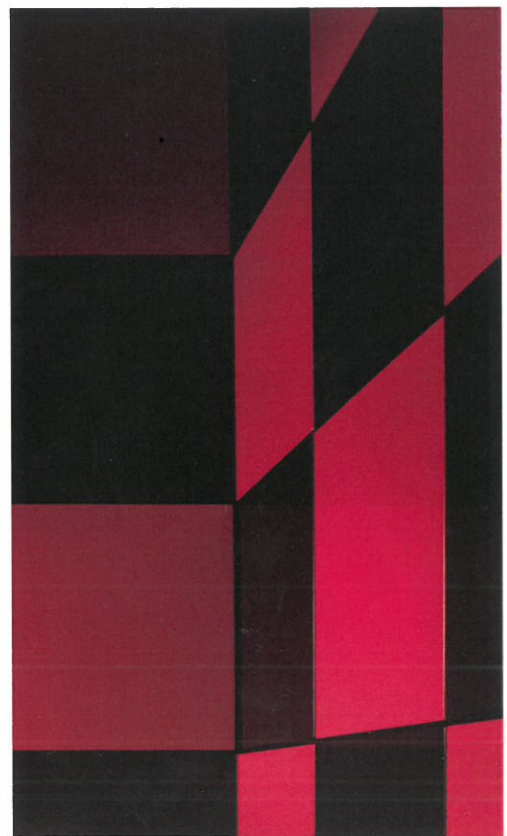
伝統的な素材と技法を用いた、新しいインテリア建材が、この漆額壁パネル「WAGOCORO」です。

漆ならではの奥行きのあるツヤ、吸い込まれるような漆黒、思わず触れたいくなる多彩な表現。

職人の手作業で実現するこれらの繊細な質感は、さりげなく存在感があり、

モダンで上質な空間を演出します。

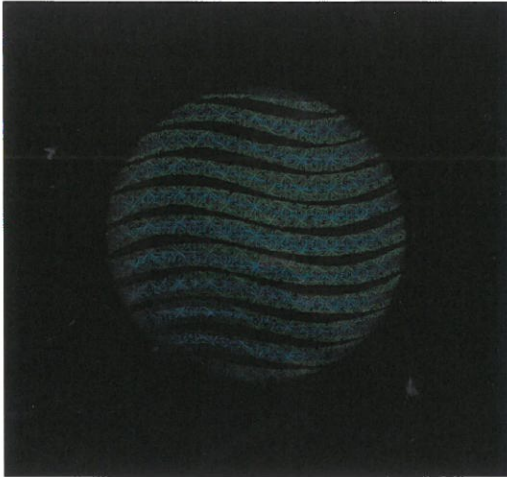
WAGOCOROで、「和」と「美」をあなたの生活に。





# SANUKI SERIES

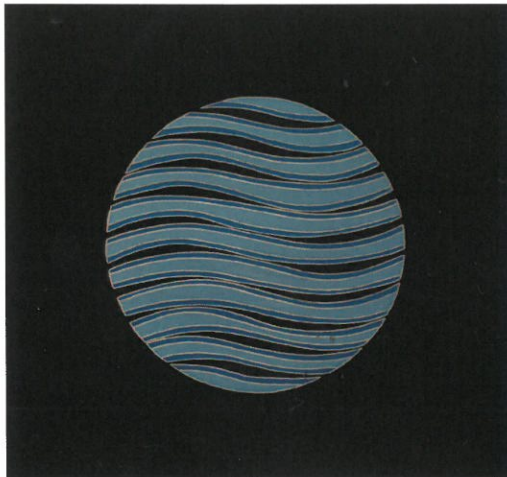
讃岐シリーズ



## 蒟醬 - kinma -

「キンマ」の起源はタイ、ミャンマーにあり、室町時代の中頃に日本に伝わりました。キンマは何回も塗り重ねた塗面を刀(ケン)で線彫りし、その図柄の彫くぼみに色漆を埋め込み、さらに表面を平らに研ぎ出す独特の技法です。1955年に磯井如真がキンマの技術保持者として人間国宝に認定され、以降4人の人間国宝を輩出しています。

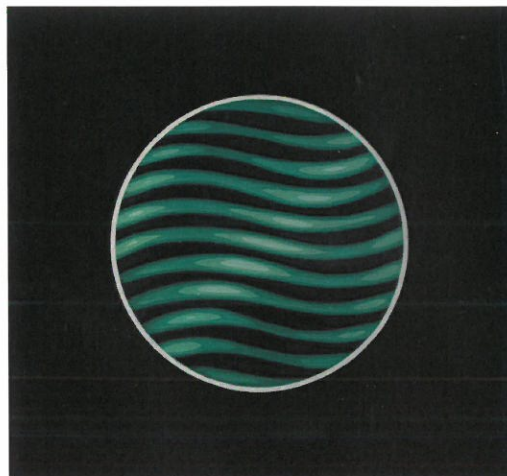
"Kinma" has its origin in Thailand and Myanmar and was introduced to Japan in the middle of the Muromachi period (around the 15th - 16th century). "Kinma" refers to a unique method of engraving line patterns on a lacquered surface with a "ken" knife. This is followed by the application of colored lacquer into the created notches and finished by polishing the surface to attain a characteristic flatness. In 1955, Isoi Joshin became a registered living national treasure as a kinma-technique holder and four other living national treasures were registered after him.



## 存清 - zonsei -

存清は室町時代中期に中国から伝わり、玉楮象谷によって日本的な存清が作り上げられました。存清は上品で繊細な味わいがあり、技法は黒地や赤地、黄地などの上塗りに色漆で絵模様を描き、その図の輪郭を刀(ケン)で線彫りしたり、細部は毛彫りをして金泥で隅取りなどをして仕上げます。

Originating in China as a technique to engrave thick layers of lacquer, "choshitsu" is known for the way in which it fully expresses the characteristics of lacquerware pieces. In "choshitsu", the final hues of the colors have to be considered throughout as several layers of colored lacquer are carefully carved down with a "ken" knife to create a delicate solidity to its appearance.



## 彫漆 - choshitsu -

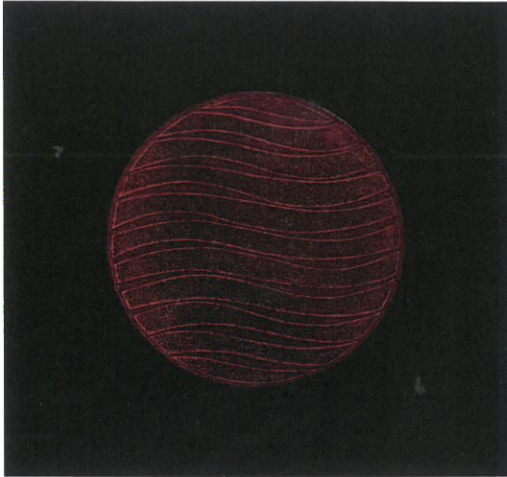
厚く塗り重ねた漆の層を彫刻する技法として中国から伝わった彫漆は、漆塗の中で最も漆の特徴が生かされた技法です。彫漆は何層にも塗り重ねた色漆の層を考慮しながら刀(ケン)で絵模様を彫り出し、繊細で立体感のある作品に仕上げます。

Originating in China as a technique to engrave thick layers of lacquer, "choshitsu" is known for the way in which it fully expresses the characteristics of lacquerware pieces. In "choshitsu", the final hues of the colors have to be considered throughout as several layers of colored lacquer are carefully carved down with a "ken" knife to create a delicate solidity to its appearance.

香川に伝わる伝統漆技法の5技法を建材用のパネルにしました。

蒟醬(きんま)・存清(ぞんせい)・彫漆(ちょうしつ)・後藤塗(ごとうぬり)・象谷塗(ぞうこくぬり)

それぞれの技が持つ漆塗りの表情と伝統の美しさをご提案いたします。



## 後藤塗 - gotonuri -

江戸時代末期、高松の藩士、後藤太平が発案した特異な朱の塗りです。塗りの堅牢さから庶民にも気軽に愛用され、日用品はもとより、家具にも塗られるようになりました。使う程に朱漆の色調が味わいを増す全国に知られる香川の特産品です。

"Gotonuri" is a unique coating method using vermillion pigment which was devised by Goto Tahei, a clansman of the Takamatsu Domain towards the end of the Edo Period. Because of its durability, commoners developed a preference for "gotonuri" products and the method came to be applied to various daily necessities such as furniture. "Gotonuri" develops a profound vermillion tone over time and is nationally praised as a Kagawa specialty.



## 象谷塗 - zokokunuri -

香川に伝わる伝統的な漆技法の一つで、玉楮象谷の名をとり「象谷塗」と呼ばれています。木地に繰り返し漆を塗り、川辺や池に自生する真菰(まこも)の粉を撒いて仕上げます。使い込む程に渋味を増す民芸的な味わいが特徴です。

"Zokokunuri" is one of the traditional lacquering techniques in Kagawa, named after Tamakaji Zokoku. A repeatedly lacquered wooden base is finished by putting a powder called "makomo" which grows along rivers and ponds. With use and age, "zokokunuri" develops a characteristically subtle charm which draws on its traditional folk background.

## 香川漆器の5技法とは

香川の漆芸は江戸時代から、さまざまな芸術・文化に理解のある高松藩主の保護によって、代表的な産業として発展してきました。

中でも、その礎となったのは、漆芸家・玉楮象谷(1806年～1869年)の存在でした。

象谷は、20歳頃に京都へ遊学。有名な寺に秘蔵されている書画や、中国伝来の漆器に触れる機会に恵まれ、巧緻を極めた表現を確立しました。それらの漆塗技法は現代に受け継がれ、1976年には四国で初めて「蒟醬、存清、彫漆、後藤塗、象谷塗」の5つの技法が、国の伝統的工芸品に指定されました。

現在は、香川県立高松工芸高等学校や香川県漆芸研究所において、後継者の育成や伝統的な技術の保存、そして新たな創造へ向けて努力が積み重ねられています。

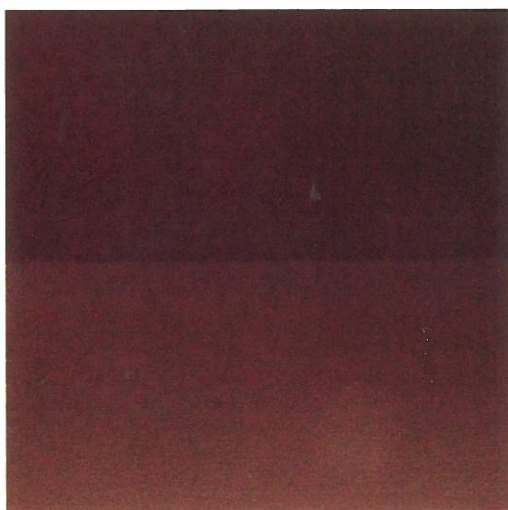


# Sinra SERIES

Sinraシリーズ

Sinra独自の「石粉漆」という技法で作られたパネルシリーズ。石粉塗の独特な風合いが魅力です。

『Ishiko』・『Zoukoku』二つのオリジナルシリーズでSinraの世界をお楽しみください。



## Ishiko

石粉塗は、Sinraによる新しい技法です。

香川県原産の庵治石のごく細かい粉(石粉)をまぜて塗ることにより、傷や指紋がつきにくいという丈夫さを生み出しています。

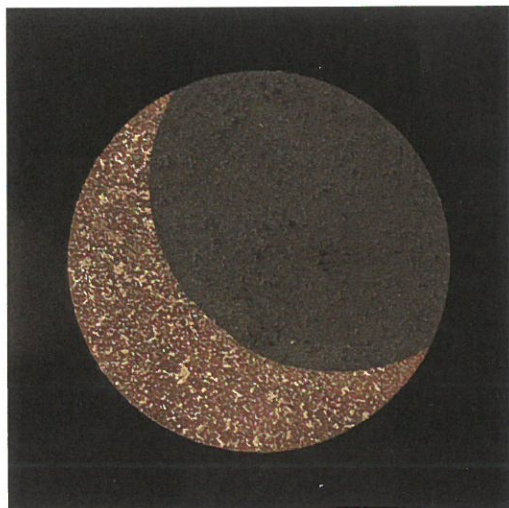
### ■ カラーパターン



黒 紺 灰 紫



緑 黄 白



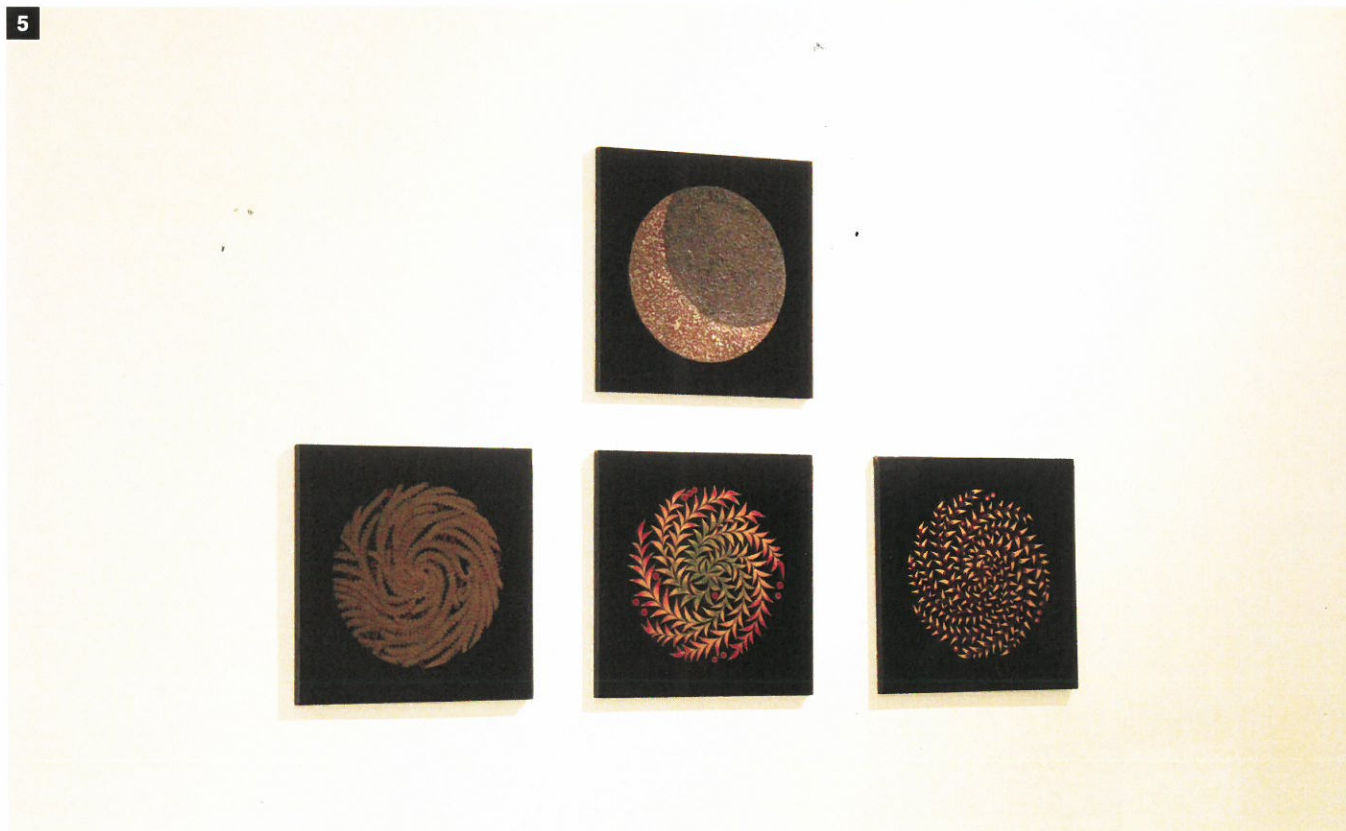
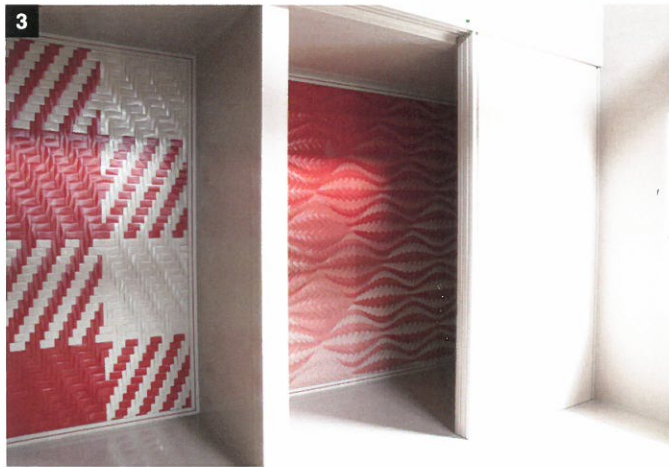
## Zoukoku

香川漆器の技法のひとつである、象谷塗をアレンジしました。石粉と漆で凹凸をつけ、池や川辺に自生する真菰(まこも)の粉をまいて仕上げます。硬質な手触りと、骨董品のような渋みが特徴です。

### ■ カラーパターン



黒 錫



1 黒い部屋 2 白い部屋 3 青い部屋 4 和室 5 住宅

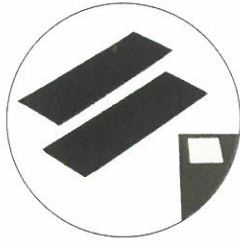
※ 1～4 は、男木島「漆の家プロジェクト」でご覧いただけます。

## 取り付け方法



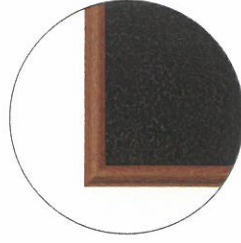
例1

金具(L字、はめ込み)を用意する



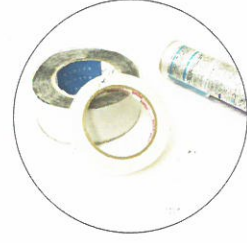
例2

マジックテープを取り付ける



例3

額縁に入れる



例4

両面テープ・ボンドで接着する

施工に関しては、個別にお問い合わせください。

## お手入れ方法

- 日ごろのお手入れは乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。強くこすると表面に傷がつく等の恐れがあります。
- 埃やゴミは、乾いたきれいな布で払い落してください。
- 液体等による汚れは、水を含ませた後に硬く絞ったきれいな布で拭き取ってください。

## 使用上のご注意

- 布巾や掃除用具を強く当てると、傷やへこみの原因となりますのでご注意ください。
- 表面を強くこすったり、引っかいたりすると色柄の欠損や表面に傷がつく等の恐れがありますのでご注意ください。
- 酸性またはアルカリ性洗剤・漂白剤・溶剤(シンナー・ベンジン等)は使用しないでください。万が一、付着した場合は速やかに除去してください。
- ナイロンたわしやスチールワール、メラミンスポンジ、研磨剤入りスポンジ等を使用しないでください。
- 表面にテープ類(セロハンテープ、ガムテープ、養生テープ等)、シール類を貼らないでください。
- 窓際など直射日光が当たると、劣化の原因となります。なるべく直射日光の当たらない所でご使用ください。
- エアコンなどを長時間連続して使用すると室内が乾燥しすぎ、傷みやすくなります。適度な湿気を補うようにしてください。また、水場での使用はお控えください。
- 温熱ヒーターやエアコンの熱風、反射式ストーブの熱気などが直接あたると傷みのもととなりますので、あたらないようにしてください。

天然素材を使用し、職人が一点一点手作業で製作していますので、気候による多少の色違いや柄のばらつきが出ることがあります。時間経過により色合いに変化が生じますが、設置環境また個体差によって色変化の度合いや色変化に至る期間は異なります。

## さぬきうるし Sinra

事務所 〒761-8047 香川県高松市岡本町 147-93

工場 〒761-2101 香川県綾歌郡綾川町畑田 3399

TEL 087-810-1327

FAX 087-810-1327

MAIL [sinra.urusi@gmail.com](mailto:sinra.urusi@gmail.com) URL <http://sinra-urusi.com/>

 @sinra\_sanukiurushi

 @sinraurusi